

# Enoch Arden



## 詩と音楽の出会い —関治子と静大生による ピアノと朗読の夕べ—

ピアニスト 関治子

関治子は日本人ピアニストが  
皆同じ演奏をするものだという  
伝説が誤りであることを  
証明して見せた—

(批評抜粋 ザ・タイムズ紙(ロンドン))



2014 **10.31(金)**

静岡大学 大学会館3Fホール

16:30開演 18:45終演 (開場 16:00)

入場無料、予約不要、途中入場可

-Program-

16:30 開演

16:40 関治子によるピアノと詩の朗読

Cyril Scott "Lotusland"

John Ireland "Decorations"

17:00 音楽評論家 鶴間圭による解説

17:20 朗読劇 Enoch Arden

18:45 終演

お問合せ: [jkkomat@ipc.shizuoka.ac.jp](mailto:jkkomat@ipc.shizuoka.ac.jp)

054-238-4498 (小松)

主催: 静大 Team Enoch Arden





この作品には、3人の登場人物それぞれを表す、短いテーマのような特定の音型(ライトモチーフ)が用いられ、それが、物語の展開や人物の感情の変化に合わせて多彩に変化しながら音楽を作り上げていく。  
作曲家は詩の言葉に靈感を受けて音楽を紡ぎ出し、詩が表現しきれなかったものを音楽の表現に託した。  
 詩と音楽の出会い、その創造的な結びつきを楽しんでいただきたい。  
 (音楽評論家 鶴間圭)



### ピアニスト 関治子

1989年北海道大学文学部(英米文学専攻)卒業、1991年英国王立音楽院修士課程を首席で修了、アカデミー最高のディプロマを取得。1993年ロンドン大学修士課程にて演奏学および音楽学を専攻し、音楽学修士号を取得。主にイギリス及びヨーロッパ、日本で精力的な演奏活動を続けている。2001年にはその顕著な活動が評価され、王立音楽院よりARAMを授与された。  
 近年は日本では認知度の低いイギリスの現代音楽を初演したり、音楽が日常に溶け込んだイギリスの雰囲気コンサートを取り入れるなど、日英の音楽の架け橋としての活動にも力を入れている。

## 朗読 × ピアノ = ∞ !?

静岡大学の学生と教員、そしてピアニスト関治子が、朗読とピアノのロマンチックな時間をお送りします。

このたび上演するEnoch Arden(イノック・アーデン)は、イノック、フィリップ、アニーという3人の幼なじみの哀切な愛の物語。アルフレッド・テニスンにより1864年に創られた物語詩に、生誕150周年を迎える作曲家リヒャルト・シュトラウスがピアノ・パートを加えました。テニスンの描いた3人の激しく揺れ動く心を、シュトラウスのピアノが一層豊かに表現しています。

英詩の朗読とピアノの織りなすハーモニーを、関治子、教員、学生たちは、どのように表現するのでしょうか。音楽評論家 鶴間圭氏による解説、日本語字幕付きで、どなたでも楽しめるようになっております。また、関治子によるピアノソロのお時間もございます。お気軽にお越しください!



10.31(金) 16:30開演 18:45終演 (16:00開場)

静岡大学 大学会館 3Fホール

静岡県静岡市駿河区大谷(おおや)836

<アクセス>

JR静岡駅北口バス乗場(静岡駅前)より  
 美和大谷線「静岡大学」行、または「東大谷」行に乗車  
 →「静岡大学」「静大片山」「片山」で下車(約25分)  
 ※公共交通機関でお越しください。

お問合せ: jkkomat@ipc.shizuoka.ac.jp  
 054-238-4498 (小松)

主催: 静大 Team Enoch Arden

静大アクセス



MAP

